



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第377号

李 昇炫 神父様御帰天 深い悲しみのうちに、水巻にて仮通夜

水巻教会協働司祭ペトロ李 昇炫(イ・スンヒョン)神父様が10月6日午前2時41分、新水巻病院において脳腫瘍のため御帰天なさいました。享年37歳、司祭生活3年半でした。通夜(8日)、葬儀ミサ・告別式(9日)が大名町カテドラルで行われることが決まっていたため、水巻教会では御帰天された当日、午後7時から「仮通夜」が行われ、李神父様とお別れしました。今号は、数人の方に原稿をお願いしました。李神父様を偲びたいと思います。

ペトロ・李神父様略歴

1981年2月8日
韓国ソウルに生まれる
2008年6月26日
助祭叙階(ソウル教区)、
ソウル明洞司教座聖堂にて
2012年3月
来日。大名町教会にて助祭色
を果たしながら日本語習得
2014年11月
ソウル教区より福岡教区に移籍
2015年4月12日
司祭叙階、大名町司教座聖堂に
て小倉・門司教会協働
2017年2月
大江・崎津・本渡教会協働
2017年5月
教区養成強化委員会神学生養成
部委員
2018年1月
水巻教会協働
2018年10月6日
帰天



イ・スンヒョン神父様、さようなら

青木神父

水巻教会で一緒になる前には、それほど関わりがありませんでした。半年余りの事でしたので、深く関わる事ができなかったのが、残念です。日本に来られたことで、色々な苦労を体験されたことでしょうか。文化の違いといえば、簡単でしょう。しかし、言葉、人間関係という言葉の中には、人生の様々な要素が含まれています。言葉の問題と言っても、日本人同士でも言葉の行き違いがあります。ましてや、物事を直接に言わない日本人の傾向に対して、どんな外国人も戸惑っているようです。人間関係といっても、年上、年下、同僚、先輩、後輩、一つ一つの場面で戸惑いや不安を感じてもおかしくない違いを体験されていたのではないのでしょうか。

私の方にも戸惑いがあったのは正直なところですが、それは、いい意味で戸惑いでした。水巻教会の司牧宣教は、任せておいて良いものと考えていました。しかし、スンヒョン神父様は、青木神父様がおっしゃる通りにします、といつも言ってくださっていました。そんなに気を遣ってもらう事も、正直言ってあまり体験した事もないので、私も戸惑ったという事です。自分もしっかり受け止めていかなければ、と反省していました。

そんな中で、確かに、病の影響はあったのかもしれませんが、休みで韓国に帰る事になっていたときの事です。帰るのを楽しみにしていたようですが、何時、帰るか、まるで、自分では決めきれないように見受けられました。だから、何月何日から何日までとこちらから言わないと決めきれない感じがしました。

入院して、手術しないといけない事になった時、したくないという思いが伝わりました。しかし、現実はどうしようもなく、受け入れていました。一度は、生活に復帰できたのは、良かったと思います。10日ばかり、司祭の家で見かけは元気にしていましたが、それでも、我慢しているところがあったようです。そこで倒れてしまいましたが、意識はきちんとありました。やはり、その後も手術はしたくないとの思いがあったようです。その時は、様子見で、手術はしない方向にはなりました。一時退院でき、お母さんと水巻教会で過ごすひと時を神様が与えてくださったのでしよう。

最初に、検査のために病院に行った時に、先生に言われた事があります。普通だったら、このような出来物が脳に有れば、倒れた状態か、意識不明の状態で担ぎ込まれてもおかしくない、それほど大変な状況だという事でした。逆にいえば、これまで、大きな腫瘍があったにもかかわらず、ある意味、元気に過ごせていたことは、奇跡的なことであったのかもしれないということを、先生の話聞いて私は、今、感じています。

韓国ソウル教区で培った信仰の恵みを私たちに分かち合ってくださいましたイ・スンヒョン神父様の安息を心から祈りたいと思います。

李スンヒョン神父様との思い出

田中 拓

李スンヒョン神父様は今年の4月に協働司祭として水巻教会に赴任してこられました。前任地の大江教会からは遠く、途中、今村教会の竹森神父のところまで1泊して来られました。引越しをお手伝いしたのですが、車には子供たちと遊ぶんだと言って、たくさんのゲームが積み込まれていました。その後、一緒に食事をしましたが、韓国の軍政下で果たした当時のカトリック教会の役割、徴兵での苦労話など饒舌にお話される神父様でした。ミサの中でも神学校時代のお菓子がよくなった話など、おもしろいエピソードを絡めながら説教していただいたことが思い出されます。

中高生を映画に連れて行ってくださるなど、水巻教会がこれから変わっていくぞ、活力が芽生えてくるぞと期待を抱かせてくれる神父様でした。

たまたま人から勧められ、近くの新水巻病院で検査を受けたところ、脳に腫瘍が見つかり、すぐに手術が行われました。最近、ミサの説教の中でも言葉に詰まることが多くなっていました。頭痛がひどかったと後になって聞きました。気づいてさし上げられなかったことが悔やまれてなりません。

手術後は、「韓国に巡礼旅行に行こう。」「日本の神学生は勉強が足りない。」など、よくお話しになり、冗談も飛ばして赴任当時の李神父様に戻ったようで私もすっかり安心していました。

入院を繰り返すこととなりましたが、状態は安定していました。10月8日に韓国に帰って療養されることになり、お母様が10月3日に来日されました。その日のうちに退院し、当日は水巻教会の司祭館に戻り、お母様の手料理をいただき、就寝されました。翌朝、お母様が起こしにいて、倒れている神父様を発見し、すぐに再入院し緊急手術。そして意識が戻らないまま、10月6日未明、息を引き取られました。最後にお母様と過ごした一晩は李神父様にとって久しぶりにくつろげた一時だったのではないのでしょうか。それがせめてもの慰めです。

入院中の李神父様はいつも祈っておられました。神父様と話をすることで、私にとって強く印象に残っている言葉を最後に紹介します。

「入院して苦しいこともありましたが、祈り続けることでいい黙想ができました。以前の自分は何かを成し遂げるために自分に力を与えて下さいと、祈ることが多かった。しかし、祈り続ける中で、小さな自分に気づくこと、自分が小さいものであることを認めることの大切さに気付きました。今は、「この小さな自分にでもできる道を教えて下さい」と祈るようになりました。」

李スンヒョン神父様、いつまでも私たちの心の内に生き続けて下さい。

李神父様のご逝去を悼む

折尾地区 大原愛子

神父様とお別れをして何日たったのでしょうか。まだ夢を見ているような、そんな気持ちでいます。

神父様が水巻教会に来られてから6カ月という短い時間でしたが、いろいろな思い出があります。最初の出会いは水巻教会の堅信式、二度目が叙階式でした。その時に比べて赴任された時は何か疲れているように見え以前と印象が少し違うなと感じました。しばらくして神父様の体調がすぐれないことを知り心配しておりましたがミサの時に今度検査に行きますと言われたので少し安心しました。しかし何日たっても何もおっしゃいませませんでしたので検査の結果はどうでしたかと尋ねましたら、検査はしていませんとおっしゃり「私の体はもうイエス様とマリア様におまかせしています」と言われました。今思えば神父様はその時にもう、自分のご病気の事など理解されていたのかもしれない。

それからすぐに1度目の入院、手術となりました。手術も無事に終わり退院され、付き添いに来られているお母様が韓国に帰られるとのことで姉とお母様の見送りに行きました。駐車場で待っていると裏口の方から神父様が歩いてこられたのですが今まで見たことがない元氣な表情、姿でした。その時の姿を忘れることはできませんし、水巻教会の皆さんにも本当に見てもらいたかったです。

このまま元気に水巻教会での活動が始まると思った矢先に2度目の入院のことを聞き本当に驚きました。元氣になりこれからと思った時の出来事、神父様の気持ちを思うととても辛く検査結果が良いことだけをお祈りしました。

入院して2日後、突然神父様から電話がありました。病院食が食べられなくてほとんど何も食べていないのでスープか何かお願いできませんかとのことでした。私が韓国のスープでも作りましょうかと話すと、とても喜んでくれました。

病室にスープやおかずを持って伺うと全て食べられ「力が出た、やはり食べないとイケませんね」と笑って言われました。そして「お二方には迷惑かけますので来ないでいいですって言いたいけど言えなくてすみません」と申し訳なさそうにおっしゃっていました。

入院の間、神父様といろいろな話をしました。今までの赴任先のこと、神父様になる前の話、兵役や神学校時代の事など・・・お話をされている最中は本当に穏やかに話されており、今が神父様の本当の姿なのだと感じました。またその時に、来てすぐにこんなことになり水巻教会の皆さんに申し訳ないといつも話されておりました。

お元気で退院され水巻教会に戻ってくると信じておりましたのに、本当に残念でなりません。

今は神様の下で病気からも解放され病院でお話をしていたときと同じような。穏やかな笑

顔で過ごされていることでしょう。この6カ月、期間は短かったですが神父様と過ごした時間は私にとって一生忘れることができない時間となりました。神父様が水巻教会に赴任されたこと、私達が同じ韓国人であったこと、全てが神様のはからいだったのかも感じています。

神父様、お疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました。



ありがとうございます。イ・スンヒョン神父様

坂本 初美



イ・スンヒョン神父様が10月6日天に召されました。

イ神父様と過ごした期間は約6カ月と短いものではありませんでしたが、神父様との思い出は印象深く残っています。就任されてすぐの頃、まだご聖体拝領が出来ない小さな子どもたちの為に、ピザをご馳走してくださいました。また、中高生が教会と繋がって行くことを願って、映画鑑賞を企画したり、若者の教会参加の為に情熱を持って、様々なアイデアを思案しておられました。

神父様のその思いはきっと、水巻教会の未来のエネルギーになる事と思います。現にその恵の一つとして起こった出来事があります。それは、樽角樹祈君の侍者奉仕です。まだ、小学一年生の樹祈君ですが、神父様との最後のミサで初めてとは思えないほど立派に侍者の務めを、果たしてくれました。

また、お通夜の日には、山田蓮君は早い時間から教会に来て色々とお手伝いをしてくださいました。その存在に周りの大人たちは癒しを得ることが出来ました。特に神父様のお母様が蓮君の手を取り、深い悲しみの中にも微笑みを見せていらっしゃったのが印象的です。

神父様のあたたかい笑顔が今でも頭に浮かんできます。イ・スンヒョン神父様、愛情を持って接して下さいありがとうございました。どうか水巻教会の子どもたちのこれからを、天上よりお見守りください。



イ・スンヒョン神父様の意思を引き継ぐ

宗 真理恵

先日、亡くなられたイ・スンヒョン神父様は、「子ども達が教会に来るように」と、今日に至るまで色々な企画を考え、実行していました。公園でピクニックをしたり、映画館で恐竜映画を見たりと、その場に神父様を交えたことで、教会に対して、更に興味を持った子ども達がいるのではないのでしょうか。

教会はイエスのことをよく知らない人でも、家族のように受け入れてくれる共同体だと思います。しかし、世間の中には、「イエスのことをよく知らない自分が教会に足を運んでもいいのか。」と言ったような堅苦しいイメージを持つ人が少なからずいるはずです。

このようなイメージを払拭し、子どもから大人まで気軽に足を運べる教会を目指すためにも、これからはこの教会で集う私達自身が、イ神父様の意思を引き継いで、教会に興味を持つ人が増えるようなきっかけをつく量に積極的に働きかけなければいけないと思います。



《李神父様 歓迎会の写真です。》

子ども達に話しかける李神父様。
この後も、子ども達～高校生まで、愛情を注がれました。また青木神父様・宮崎神学生と絶妙に呼吸の合った司牧がなされました。

西原村にて・稲刈り体験

海老津地区 山口 隆一

10月14日、熊本地震被災地支援のために昨年から行われている米作りの「実りの収穫」に行ってきました。場所は、西原村の「白糸の滝」にほど近い段々畑。参加者は全体で40名程で、水巻からは浜口悦子さんと私の二名。来年も続きそうですので、来年の田植えにはもっと参加者が出るよう期待しています。

この日は絶好の「稲刈り日和」で、昼食の「猪鍋」に舌鼓を打った後作業開始。日頃持ち慣れぬ鎌を片手に悪戦苦闘しながら、作業手順もあって全体の3分の一ほどを刈り取って作業は中断。刈り取った稲を縦と穂を分ける作業に入りました。作業に慣れた土地の方がコンバインにかけて、小一時間ほどでこの作業は終わり、後の刈り入れは機械任せ。今年も、収穫された「寄姫伝説米」が販売されます。収益は地元還元されますので購入方宜しくお願いします。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 11月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

去る10月8日、第56回大運動会が行われました。“もえよ!たいようのように”というテーマのもと、子ども達は、力いっぱい体を動かしました。園児代表挨拶では、北海道や岡山で被災された方の為にも、子ども達の思いが届くように、力を発揮しました。写真は、年長児A組のパラウエイ体操の様子です。



【七五三祝別式】

・日 時：11月8日(木) 10:30~11:30 ・場 所：カトリック水巻教会
未就園児のお友達、お待ちしております。準備の都合上、事前にお電話を頂けると幸いです。

Tel : 093 201 9559

e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

先日、「マリア子どもの家」の子ども達は、『運動会』に初めて参加しました。“みんなでかけっこ”に出場して、上手に並び、元気に走ることができました。できるんだ!!と職員皆で感心し、嬉しく思いました。

畑では、子ども達と蒔いた秋野菜が芽を出し、可愛い葉を伸ばしています。サツマイモもだいぶん大きくなりました。深まり行く秋を感じつつ、楽しく過ごしたいと思います。



マリア子どもの家 Tel : 050 5212 7759 HP: 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 シスター松川明子 教職員 一同

アンケートのお願い 広報委員

以前より告知しておりました「からしだね」のアンケートを配布いたします。一軒に一部ではなく、小学生以上の家族の必要部数をお持ちください。記名式ではありませんので、思った通りに印を入れるか、ご記入ください

回収はお御堂の後ろに箱を設置します。その中にご投函ください。

より良い紙面を目指していきたいと考えています。ご協力のほど宜しくお願いいたします。



★諸聖人ミサ★

日 時：11月1日(木)
9時30分～ 19時30分～

★死者の日ミサ★

日 時：11月2日(金)
9時30分～ 19時30分～

死者の追悼の祈り(ミサ)を行います。色紙や用意してある紙に亡くなられた祈願者の名前を書いて、箱の中に入れてください。

★小教区の日★

日 時：11月18日(日) ミサ後
詳しい内容は、ミサ中のお知らせで確認してください。

★侍者★

遠賀地区の浜村誠治さんが、10月から侍者をしています。浜村さんには、これからの侍者の育成も担当していただきます。

★ホームレス支援★

寒くなってきました。炊き出し支援団体「抱撲」は、今年もホームレスのために食料のほか、衣服の支援を求めます。厚手の暖房着で余っているものがありましたら支援方お願いします。女性のホームレスも増えていきます。女物がありましたら嬉しいのですが…。

担当・橋本富美

★特別献金★

9月23日 世界難民移住移動者の日献金
30,200円
ご協力、ありがとうございました。

★編集後記★

▽今月号は紙面の都合上、目次がありません。



10月14日 大人の日曜学校
福者 ディエゴ 加賀山隼人の殉教400年祭に向けて



湯川教会の深堀神父様が来られ、福者ディエゴ加賀山隼人の殉教400年祭に向けての話をしてくださいました。

今回の講話は、6月に李神父様から依頼されていたそうです。当初の予定では、9月にお願いされていましたが、深堀神父様の予定があり、10月になったそうです。

神父様は、すでに列福・列聖されている殉教者をいただいているのだから、「福者ディエゴ加賀山隼人の殉教400年祭に向けて」が必要かという投げかけをされました。現代の教会は、福者の殉教400年祭よりも、もっといろいろな諸問題を大切にされた方がよいのではないかということ、いろいろなエピソードやこの活動にかかわってきたときの思いを交えながら、巧みな話術で語っていただきました。

話の途中に、李神父様との思い出話もいろいろ話していただきました。

最後に、「キリストのために死ぬのがいいのではなく、生きることが大切なんです。生きてください。」と力強く水巻教会の信徒に向けてメッセージを述べて、この会が終わりました。